

【様式4の2】

受験番号兼申請番号 | 医・歯・技

(この上の欄には記入しないで下さい)

西暦 年 月 日

症例番号 |

- (1) 医療機関：○○○○○
- (2) カルテ番号：○○○○○
- (3) 年齢：55 歳
- (4) 性別：男性
- (5) 職業：会社員
- (6) 主訴・主症状：日中の眠気、いびき、睡眠時の呼吸停止
- (7) 診断：成人の閉塞性睡眠時無呼吸症候群（重症）
*睡眠障害国際分類第2版に従って診断 *重症度はAmerican Academy of Sleep Medicineの分類に従う
- (8) 既往歴：他医にて、高血圧症、脂質異常症で治療中
- (9) 家族歴：特記すべきことなし
- (10) 現病歴：高血圧症、脂質異常症にて通院中の他医において、いびきや日中の眠気を訴え、睡眠ポリグラフ携帯用装置を用いた検査を行った。その結果にて睡眠時無呼吸症候群が疑われたため、精査加療目的で○年○月○日に紹介受診となる。いびきは30歳頃、睡眠時の無呼吸は40歳頃から指摘されている。
- (11) 心身の一般的所見：身長 172.1 cm、体重 84.6 kg、Body Mass Index 28.6 kg/m²、血圧 142/86 mmHg、心拍不整なし。神経学的および精神医学的所見は認められなかった。Epworth Sleepiness Scale (ESS) 12/24 点。
- (12) 主要な臨床検査所見：内分泌機能を含め、特記すべき血液学的異常所見なし
- (13) 睡眠ポリグラフ検査 (PSG) の成績：
診断 PSG(○年○月○日)、表 1、図 1
*AASMによる睡眠と随伴イベントの判定マニュアル ver.2 に従い判定した。
*睡眠構築：総記録時間；489.5 分、総睡眠時間 (TST)；390.5 分、睡眠潜時 (SL)；2.0 分、睡眠効率 (SE；TST/消灯から点灯まで)；79.8%、睡眠段階は、%Stage N1；42.2%、%Stage N2；48.7%、%Stage N3；0.0%、Stage R；9.1%。総覚醒反応指数 (ArI) は 61.2/hr と非常に高く、睡眠の分断化が観察された。これらの殆どが無呼吸および低呼吸イベントに伴う覚醒反応であった。頻回な分断睡眠により浅睡眠の割合が高くなり、また Stage R についてはその割合は減少しており、REM 睡眠潜時は延長していた。
*睡眠時呼吸障害：無呼吸・低呼吸指数 (Apnea Hypopnea Index；AHI)；60.4 /hr、無呼吸指数 (AI)；55.5 /hr、低呼吸指数 (HI)；4.9 /hr。入眠直後からいびきと主に閉塞性無呼吸が出現した。SpO₂ は呼吸イベントに伴い頻回に低下し、SpO₂ 低下指数≥3%(ODI)は 46.8 /hr、最低 SpO₂ は 77 %であった。典型的な波形を図 2 に示す。
*心電図：特記すべき異常所見なし
*下肢筋電図：睡眠時周期性四肢運動なし

CPA P 圧調整 PSG(○年○月○日)、表 1、図 3

*睡眠構築：総記録時間；480.0 分、TST；421.0 分、SL；5.5 分、SE；87.7%、睡眠段階は、
% Stage N1；5.5 %、%Stage N2；39.4 %、%Stage N3；23.5%、%Stage R；31.6 %。

ArI は 8.0 /hr と大幅に減少しており、浅睡眠の割合が減少し深睡眠がみられるようになった。また、Stage R の割合も増加した。

*睡眠時呼吸障害：CPAP 装着により AHI は、1.1 /hr と著減した。最低 SpO₂ は 88 %であるが著しい低下は認められなかった。

*CPAP 圧調整：固定モードを使用し、マニュアルタイトレーションを行った。

CPAP 4.0 cmH₂O から初め、14.0 cmH₂O の圧にていびき・低呼吸・無呼吸も消失し呼吸が安定した。これにより適正圧は 14.0 cmH₂O と推定された。起床時の熟眠感はあり、CPAP に対する違和感はなかった。

*心電図：特記すべき異常所見なし

*下肢筋電図：睡眠時周期性四肢運動なし

(14) 鑑別診断：日中の過度の眠気を訴える睡眠障害として、ナルコレプシー、特発性過眠症などがあげられ、鑑別および合併の可能性が考慮されるが、本症例は PSG の結果から重症の閉塞性睡眠時無呼吸症候群と診断し、CPAP 療法により眠気が消失していることからナルコレプシーや特発性過眠症は除外される。さらに、ナルコレプシーの特徴的症状である情動脱力発作、入眠時幻覚、睡眠麻痺などを本症例では認められなかったことからナルコレプシーは除外できる。

(15) 治療方法：○年○月○日より CPAP 使用開始。固定モード 14.0cmH₂O、Ramp time15 分。

(16) 治療効果・経過予後：ESS が初診時に 12 点であったが、CPAP 使用 1 ヶ月で 1 点となり日中の眠気の改善がみられた。CPAP 治療データから、平均使用率は毎月 80 %以上、平均使用時間は 6.5 時間と良好な使用状況であることが確認された。

*この模範例を引用・申請した場合は不合格となる。

*症例報告書の内容や書き方は認定事業実施に関する規約・細則に準ずること。

*書式（フォント、文字サイズ、行間など）は読みやすく、統一が図られていること。

*図は鮮明であること。

*睡眠ポリグラフの図にはスケールを入れること。

【様式4の4】

症例番号

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

表1 PSG結果

		診断 PSG	CPAP 圧調整 PSG
睡眠 の 状 態	総記録時間 (消灯から点灯まで)	489.5 分	480.0 分
	総睡眠時間 (TST)	390.5 分	421.0 分
	睡眠潜時	2.0 分	5.5 分
	REM 睡眠潜時	188.0 分	36.5 分
	入眠後覚醒 (WASO)	93.5 分	53.5 分
	睡眠効率 (TST/消灯から点灯まで)	79.8%	87.7%
	Stage N1 (TST 中%)	165.0 分 (42.2%)	23.0 分 (5.5%)
	Stage N2 (TST 中%)	190.0 分 (48.7%)	166.0 分 (39.4%)
	Stage N3 (TST 中%)	0 分 (0%)	99.0 分 (23.5%)
	Stage R (TST 中%)	35.5 分 (9.1%)	133.0 分 (31.6%)
	総覚醒反応指数	61.2 /hr	8.0 /hr
呼 吸 の 状 態	無呼吸指数	55.5 /hr	0.6 /hr
	低呼吸指数	4.9 /hr	0.6 /hr
	無呼吸低呼吸指数	60.4 /hr	1.1 /hr
	動脈血酸素飽和度の平均値	92.7%	94.9%
	動脈血酸素飽和度の最低値	77%	88%
	動脈血酸素飽和度の低下指数 (ODI \geq 3)	46.8 /hr	0.6 /hr
他	心電図異常	特になし	特になし
	睡眠時周期性四肢運動指数	0 /hr	0 /hr

※ WASO : Wake after sleep onset

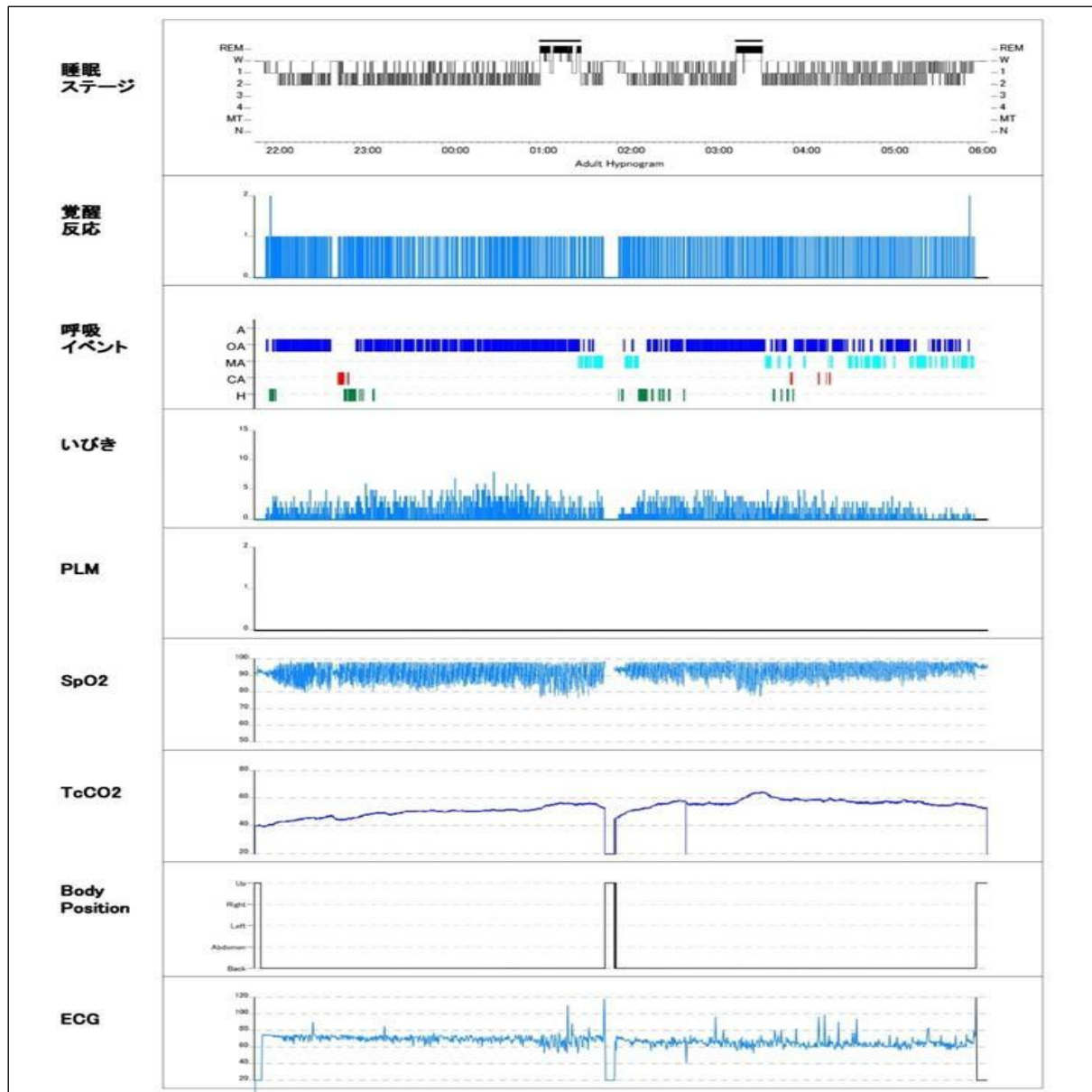
※ TST : Total sleep time

※ ODI : Oxygen desaturation index

【様式4の4】

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

図1 PSG結果

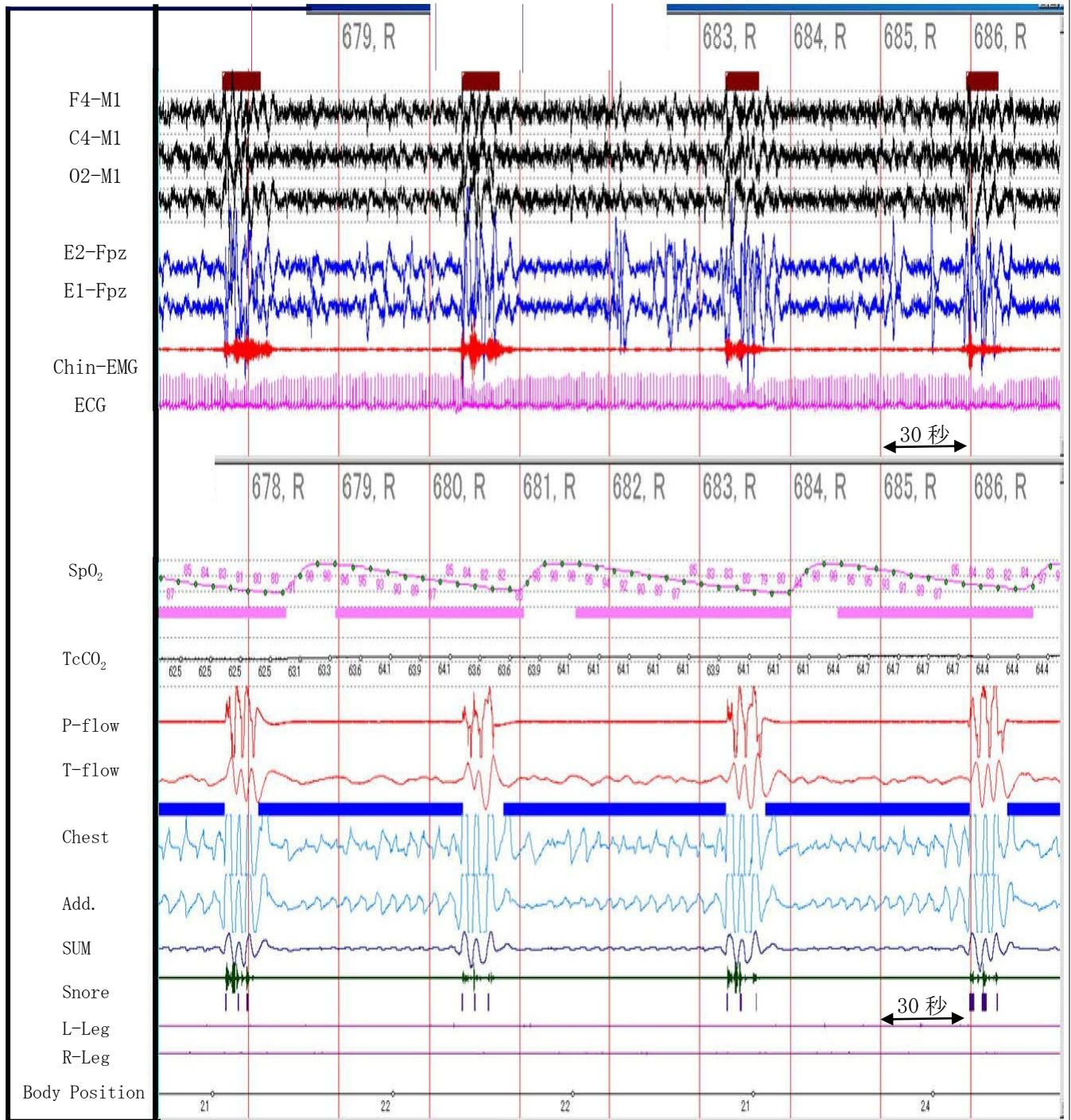


- ※ 1 段 睡眠ステージ、睡眠経過図
- ※ 2 段：覚醒反応の出現頻度
- ※ 3 段：無呼吸低呼吸の出現頻度、OA が閉塞性無呼吸、MA が混合性無呼吸、CA が中枢性無呼吸、H が低呼吸
- ※ 4 段：いびき、いびきイベントの出現頻度
- ※ 5 段：PLM、周期性四肢運動の出現頻度
- ※ 6 段：SpO₂、動脈血酸素飽和度のトレンドグラム
- ※ 7 段：TcCO₂、経皮炭酸ガス分圧のトレンドグラム
- ※ 8 段：Body Position、体位のトレンドグラム
- ※ 9 段：ECG、心拍数のトレンドグラム

【様式4の4】

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

図2 睡眠中の呼吸障害の例



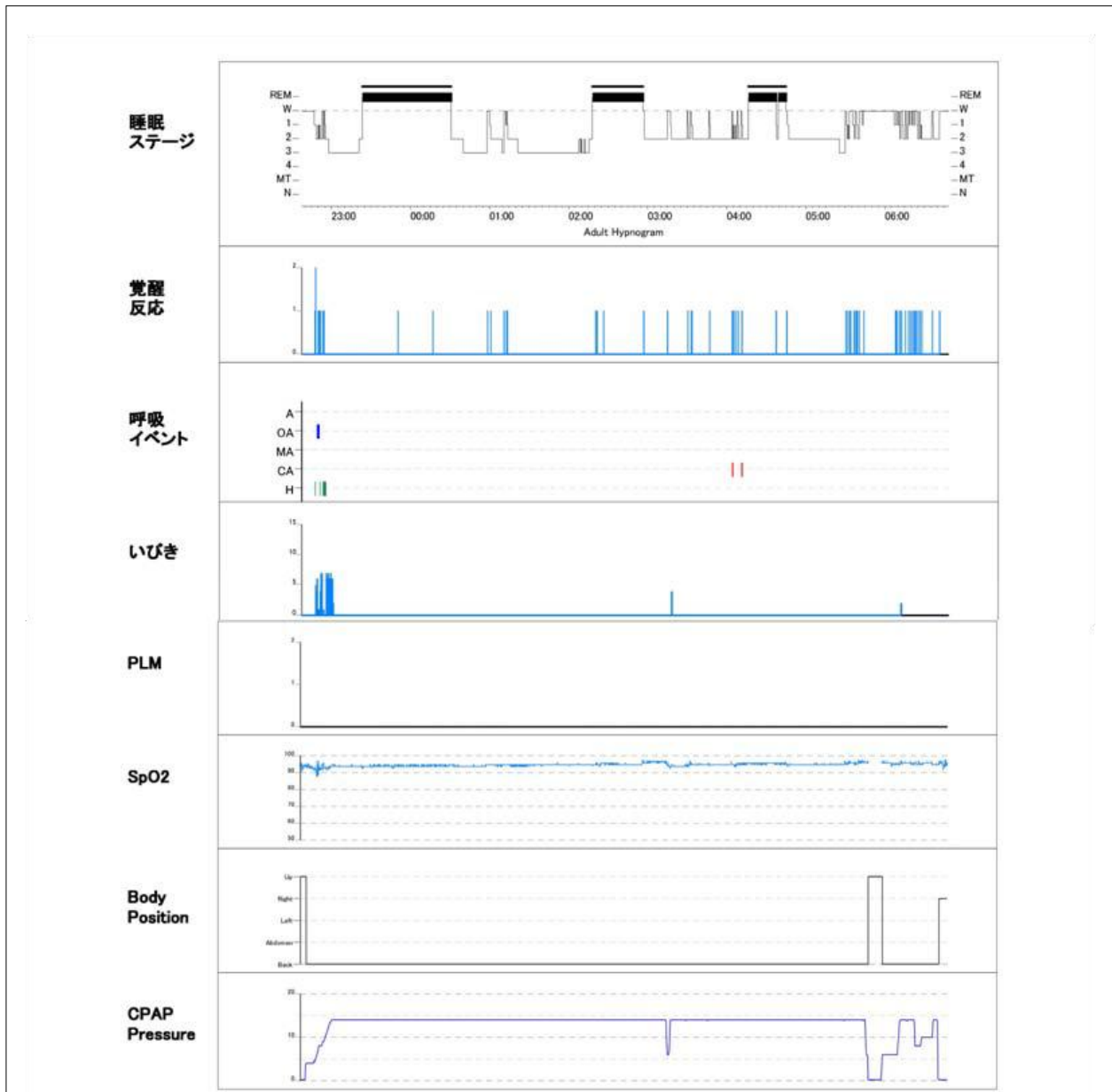
SpO₂の低下と覚醒反応を伴う閉塞性低呼吸が繰り返し認められる。

脳波：F3-M1, C4-M1, O2-M1, 眼球運動：E2-Fpz, E1-Fpz, おとがい筋筋電図：Chin-EMG, 動脈血酸素飽和度：SpO₂,
 経皮炭酸ガス分圧：TcCO₂, 気流測定；鼻圧：P-flow, 温度センサ：T-flow, 胸腹運動：Chest, Abd., SUM, 鼾音：Snore,
 左右前脛骨運動：L-Leg, R-Leg, 体位：Body Position

【様式4の4】

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

図3 CPAP 圧調整 PSG



- ※ 1 段 睡眠ステージ、睡眠経過図
- ※ 2 段：覚醒反応の出現頻度
- ※ 3 段：無呼吸低呼吸の出現頻度、OA が閉塞性無呼吸、MA が混合性無呼吸、CA が中枢性無呼吸、H が低呼吸
- ※ 4 段：いびき、いびきイベントの出現頻度
- ※ 5 段：PLM、周期性四肢運動の出現頻度
- ※ 6 段：SpO₂、動脈血酸素飽和度のトレンドグラム
- ※ 7 段：Body Position、体位のトレンドグラム
- ※ 8 段：CPAP Pressure、CPAP 圧の推移